

# 越谷市立光陽中学校

## 英語

### Reading 2 An All-purpose Cloth (Total English Book1)



英語で進めるテンポのよい授業の流れ



ALTとの豊富なインタラクション

## 参会者アンケートから

### 研究会のあり方・全体的な感想

- 受け身ではなく、能動的に活動する生徒の姿を見て、「どういう風に生徒を育てていきたいのか」という vision をしっかりとつとめることの大切さがわかった。生徒につけたい力を意識した上で、授業構成を行っていききたい。
- 全力で生徒を褒めることで、50分の授業が最初から最後まで盛りあがっており、生徒のモチベーションが高い状態で進行できていてすばらしかった。
- 知らないこと、初めて見ることの多い授業であった。生徒たちがいきいきと英語に触れており、活動している背景には、授業者の思いが強くあるのだと感じた。3年後の生徒の姿を描いて backward design による指導ができるようにしていきたい。
- 授業者もグループ協議に加わってくれたので、授業の感想だけでなく、ふだん疑問に思っていることもシェアできてよかった。



相づち表現等を使いながら対話を続ける



picture telling の完成度を高める

○生徒同士で correction し、助け合っている姿、また、グループ活動時に司会担当の生徒が進行することによって、スムーズに話し合いが行われていることに驚いた。

○ナチュラルに相づちが打てるように、そして自分のアイデアを英語で表現できるように私自身、努力がもっともっと必要であると気づいた。

○生徒が英語をもっと身近なものとして捉えて、相づち表現等を英語でどう言うのかを知り使ってみることや聞き手を意識した活動を行うことによりコミュニケーション能力が身につくのだと感じた。

○自分が教えた子供たちが中学1年生になって、「どれくらい英語力が高まっているのだろう？」という視点で授業を観させていただいた。「アイコンタクト」や「相づち」をととても大切にしながら、自分の言葉で気持ちを伝えようとしている姿を見て、大変うれしく思った。(小学校教諭の感想)

○児童がたくさん英語に触れたり、自分の伝えたいことを話したりする機会を多く採り入れた授業展開を実践し、本日のような授業を中学1年生になった時にギャップを感じることなく受けられるようにさせてあげたい。(小学校教諭の感想)

○グループ単位でのフィードバックが今後必要になってくるのかと思い、「その方法はどうか」という新たな課題を見つけたことができた。



自信をもって「風呂敷の紹介」ができる



発話したまとまった英語を書いてみる



意見交換を通じて、新しいことに気づく



授業者への質問が、協議をさらに深める

授業研究会 授業分析表 綾谷市立光陽中学校・英語(2)組	
ポイント1	
目標	自由表現力や発話の場を創出する活動
内容	自由表現力や発話の場を創出する活動
評価	自由表現力や発話の場を創出する活動
振り返り	自由表現力や発話の場を創出する活動

授業分析表